

3,000 種以上あるともいわれる紫陽花



柏床よしおの

よっしー通信

2026年7月　22号

発行　柏床由夫後援会

神石高原町油木乙23番地2　℡(0847-82-2022)

http://ww4.tiki.ne.jp/~kashiwatoko/

Email kashiwatoko@mx4.tiki.ne.jp

一般会計　1億7953万円を補正

地方創生応援税制寄附金事業
町道維持補修経費など

【6月定例会】

6月定例会は、6月10日から18日まで開かれ、一般会計、3特別会計を含む補正予算総額、1億8837万円を補正したほか、工事請負契約の締結、専決処分した事件の承認、条例改正など22議案と議員発議1議案が原案どおり可決。一般質問は9人の議員が行いました。

補正予算の主な内容

- 地方創生応援税制寄付金事業　3事業へ　6096万円
- 町道維持補修経費　5250万円
- 小規模崩壊地復旧事業　500万円
- 陽光の里文化ホール管理運営経費　252万円。
- こども家庭センター経費　335万円
- 林業再構築プロジェクト事業　267万円

ほか

令和7年度第三セクター経営状況

㈱帝釈峡スコラ
売上は、9350万円で、昨年対比118%、当期純利益117万円
利用者数、8万1812人

㈲さんわ182ステーション
売上は、6億6110万円で、昨年対比100・7%、当期純損失金75万円
総来客数、45万7929人

㈱神石高原農業公社
売上は、7185万円で、年対比110・6%、当期純利益117万円の経営状況の報告がありました。

6月議会専決処分承認議案
議案第97号専決処分した事件の承認を求めることについて
【内容】神石高原町税条例の一部を改正する条例

軽自動車税関係
軽自動車税(環境性能割)の廃止
施行期日　令和8年4月1日

個人住民税関係
①復興特別所得税の課税期間の延長及び防衛特別所得税の創設
・復興特別所得税の課税期間を10年延長
（令和19年分⬇令和29年分）
・防衛特別所得税の税率を1%創設し、復興特別所得税の税率を1・1%に
（現行2・1%）
施行期日　令和10年1月1日

②住宅借入金特別税額控除の適用期限延長
（令和7年12月31日⬇令和12年12月31日）
施行期日　令和8年4月1日

固定資産税関係
①固定資産税の免税点の見直し
土地　30万円⬇変更なし
家屋　20万円⬇30万円
償却資産
150万円⬇180万円
施行期日　令和9年4月1日

②住宅に係る固定資産税の減額措置面積要件の見直しと期間の延長
床面積要件
50㎡以上280㎡以下⬇40㎡以上240㎡以下に
適用期限を5年間延長
（令和7年度⬇令和12年度）
施行期日　令和8年4月1日
(地方自治法179条による)

「専決処分」とは？

根拠	条件	専決処分後の議会での手続き	議会に報告するときの件名
地方自治法第179条	特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであるときなど	議会絵の報告 議会の承認	専決処分について（一般会計補正予算（第○号））
地方自治法第180条	軽微な内容で、あらかじめ議決により特に指定したもの	議会への報告	専決処分の報告について（○○契約の変更）

柏床議員の一般質問



DXの取り組み

問 **ふれあいタクシーのDX化は。**

答 マイナンバーカードを活用。

柏床＝ふれあいタクシーのDX化はどの様に進めるのか。

町長＝導入時期と運用開始予定は、今年7月から12月にシステム構築、1月からマイナンバーカードに利用者ID登録、以降運用開始とする予定である。

現在、業者選定のための公募型プロポーザルの募集中、6月中には審査及び契約を行う予定である。

柏床＝マイナンバーカードを持っていない利用者の対応は。

町長＝マイナンバーカードを持っていない方への対応は、プロポーザル仕様書に基づき、紙媒体との併用方法を含めた柔軟な運用を予定している。

現段階では、システムにQRコードによる利用者IDの読み取り機能を実装する予定である。

柏床＝現行とDXの導入後のランニングコストは。

町長＝アナログ環境では、直接的な支出は発生していない一方で、職員の作業時間や運行管理のための労力といった間接的なコストが発生している。

DX化による運用経費としては、年間5，124，000円のランニングコストを見込んでいる。

この額には、マイナンバーカード空き領域認証月額費用や【J-LIS】回線利用料、車載端末の通信費、システム利用料が含まれており、一部を事業者に負担を求める方針である。

DX化の運用コスト増加はあるが、業務効率化や、職員が他の重要施策に注力できる点など、費用対効果としては非常に高いと考えている。

※【J-LIS】とは
地方公共団体情報システム機構
業務内容・マイナンバーカード関連システム、住民基本台帳ネットワークシステム、自治体中間サーバー・プラットフォーム、公的個人認証サービス、総合行政ネットワーク（LGWAN）、コンビニ交付サービス等、各種システムの開発・運営を担っている団体。

柏床＝CIO補佐官が7月から就任予定だが、なぜ就任を待って公募しなかったのか。

総務課長＝財源は、国の補助金を活用する。CIO補佐官の就任を待つと、今年度システム導入が遅れるため公募した。

※CIO補佐官とは
CIO補佐官（情報化統括責任者補佐官）は、各府省や自治体におけるCIOの業務・システム分析、評価、最適化計画の策定を支援する専門職として設置されている。通称「デジタル統括アドバイザー」とも呼ばれ、電子政府構築計画や自治体DX推進の実務的・技術的な助言を行う。
デジシップ広島から補佐官となる人材の派遣を受け、人件費等の経費負担は町が負担する。

柏床＝「マイナンバーカードを持っていない方はQRコードを活用」とあるが2重投資では。

総務課長＝2重投資の懸念はあるが、マイナンバーカードを持っていない方の対応のためにQRコードを仕様書に記載した。

柏床＝QRコードの方が利用度が高いのでは。

総務課長＝基本はマイナンバーカードの活用であるが、マイナンバーカードを持たれていない利用者のためにQRコードとの併用とした。

QRコード
とは、情報を記録した「四角い画像」のこと。スマホのカメラをかざすだけで、文字やウェブサイトのURLを一瞬で読み取ることができる。情報を素早く（Quick）読み取れる（Response）ことに由来しており、日本の企業（デンソーウェーブ）が開発した。（QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標）



制度が定着したふれあいタクシー

国による自治体のシステム標準化

柏床Ⅱ令和８年度から運用されている、自治体の情報システム標準化の年間運用経費は。

町長Ⅱデジタル庁は当初、システム標準化によって「自治体の情報システムの運用経費等について、標準準拠システムの移行後に運用・保守費を全体で３割削減する」という目標を掲げていた。

しかし、本町における標準化に係る実際の費用は、令和８年５月時点で移行前が、年間約３，０００千万円のランニングコストであったものが、移行後は、年間約１億１，１００万円となっており、ランニングコストは、**３～４倍**に増加した。

柏床Ⅱ増加分は国が負担してくれるのか。

町長Ⅱ国は、システムの移行や改修に直接かかるイニシャルコストについては、補助金や地方交付税措置として「全額」を支援するとしている。

移行後のランニングコストについては、デジタル庁から令和８年３月27日付で「地方公共団体情報システム運用最適化支援事業費補助金について」により、ランニングコストの内、標準化により増加した部分を全て補助金と普通交付税で対応する旨の通知を受けている。

体や議会から、国に強く要望していただいた結果であると考えている。

本町議会からも「地方財政の充実・強化を求める意見書」として国会へ要望書を提出される等のご配慮をいただき、誠にありがとうございます。

本件については、引き続き、デジタル庁の動向に注意しつつ、適切な事務執行並びに要望を行っていく。

今後の道路行政、町営住宅施策は

柏床Ⅱ本年度単独道路改良事業が完了する１件のみとなっているが、昨年度までの単独道路改良事業の方向は。

町長Ⅱ本町の今後の道路改良事業の全体的な方向性は、単独町費の道路改良事業は、過疎債や辺地債等の有利な地方債を原則として最大限に活用していく方針で進めることとしている。

これは、全国の多くの自治体や議会から、国に強く要望していただいた結果であると考えている。

本町議会からも「地方財政の充実・強化を求める意見書」として国会へ要望書を提出される等のご配慮をいただき、誠にありがとうございます。

本件については、引き続き、デジタル庁の動向に注意しつつ、適切な事務執行並びに要望を行っていく。

今年度の当初予算で、当該事業が昨年度の５路線からの１路線のみとなった経緯は、昨年度計画していた路線のうち４路線については、過疎債の一次協議における配分には至らなかったものの、その後の二次協議において配分を受けることが決定した。これに伴い、財源確定が年度後半にずれ込んだことから、令和８年度への繰越事業とした。

４路線のうち、３路線は「測量設計費」で、本年４月末に業者との業務契約を終え、現在、鋭意測量作業を進めている。

次に、今後の予算および執行予定については、令和８年度への繰越しを見込んでいた経緯から、これら４路線については当初予算への計上を見送った。

引き続き過疎債や辺地債の二次協議による配分の要望申請を行う予定である。

内定が決まり次第、測量設計の進捗を見極めつつ、来る12月の補正予算で必要な予算を計上し、議会の皆様のご承認をいただきたいと考えている。

令和９年度以降は、当初予算の段階から計画的に予算を確保できるよう、令和７年度繰越及び８年度の対象事業を速やかに執行していく。

柏床Ⅱ道路維持の今後の方針は。

町長Ⅱ道路維持の今後の方針、ならびに「舗装長寿命化修繕計画」について、本計画は、平成26年度の路面性状調査に基づき策定した。主要な町道を調査した結果、国の基準で約67キロメートルの補修が必要と判明したが、予算の制約から年間で施工できる延長は約８００メートル程度にとどまるため、すべての路線を計画期間中に修繕することは困難である。



本年度で工事が完了する油木地区の町道有元高水池線（R182 側から）

そのため、通行量や損傷度を勘案し、優先順位の高い路線から補修を進めている。

計画の成果は、今回の計画期間ではインフラ関連の補助金や地方債を活用しなかったが、多くの未補修路線があることを把握できており、日々の巡回や補修路線決定の参考にしている。

次に、「次期計画への更新」については、前回の調査には国庫補助事業により約2,500万円を要しており、再度の調査を行うことは困難である。

また、現行計画の補修必要路線のうち、いまだ未着手の路線が多く残されている現状があるため、次期計画は新たな調査を行わず、未着手データをベースに継続する方針である。

ただし、日々の巡回や現場確認の情報を反映し、実態に合わせて適切に更新し策定していく。

今後の道路維持の方針として、大規模工事は計画的に進める一方、小規模な穴や欠損などは小さなうちに迅速に補修し、限られた財源を有効活用して安全な町道の通行環境を確保していく。

柏床＝今後の町営住宅の建替え、リニューアルは。

町長＝町営住宅については、令和5年3月に「町営住宅長寿命化計画」を策定し、入居状況や将来の人口推計を踏まえ、需要の過不足や建替え時期などの中長期的な計画を定めた。

建替えについては、すべての住宅を対象とするのではなく、同計画において将来的に住宅不足が予測されている地域や箇所に限定して進める方針としている。対象となる住宅については現在、新規募集を停止しているもの、入居率が高く既存入居者の移転先の確保など、円滑な事業実施に向けた調整を進めている段階であり、現在はタイミングを慎重に見極めている状況である。

次に、リニューアルについては一般財源での対応となるため、財政負担の平準化を考慮しながら、施工内容や時期を慎重に検討している。

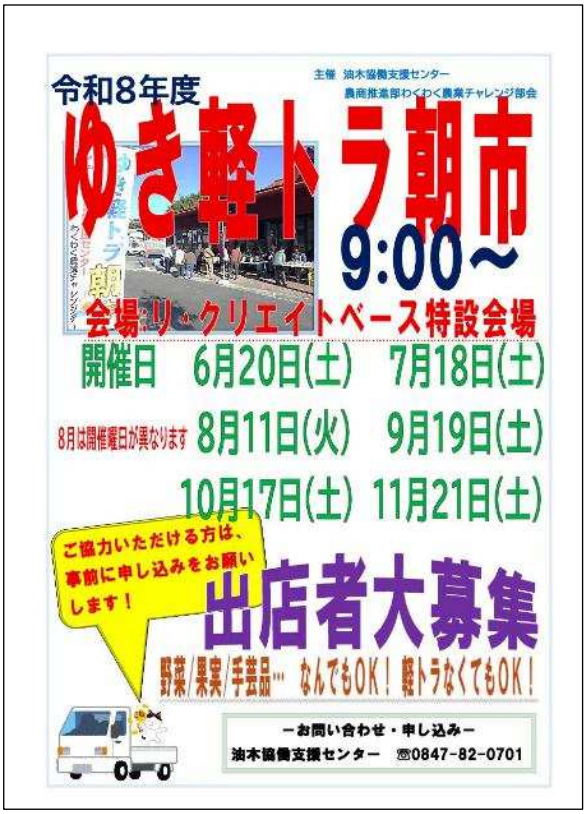
不足地域における住宅の新築や建替えにあたっては、活用可能な国庫補助金等の財源確保が大きな課題となっている。

他自治体の事例なども参考に、有利な財源の活用や効率的な手法についてさらに知恵を絞って行きたい。

今後は、既存住宅の有効活用を図りつつ、中長期的に需要に応じた建替えを含め、総合的な住宅対策を計画的に進めたい。



（建築後44年経過した油木地区の般若寺住宅）



【6月議会を終えて】

町は昨年度「神石高原町第4次行財政改革プラン」を策定し、本年、4月から実施されています。当初予算にも反映され、高齢者の一部負担などが新たに増え、子育てに関するお祝い金は半分となりました。高齢者福祉と子育て支援の町を進めてきた町政に少しブレーキがかかった気がします。

行政コストの削減といわれますが、ふれあいタクシーのDX化は、役場、事業者にとって事務軽減となるが、マイナンバーカード普及率100％に達しないなかで、QRコードとの併用は、タクシーに2種類の読み取り機能が必要になります。マイナンバーカードを紛失したら、再発行に約1か月が必要となり、国の施策に従うのが町民にとって本当に良いのか疑問が残ります。